

佐那河内村庁舎跡地等活用検討委員会の進め方

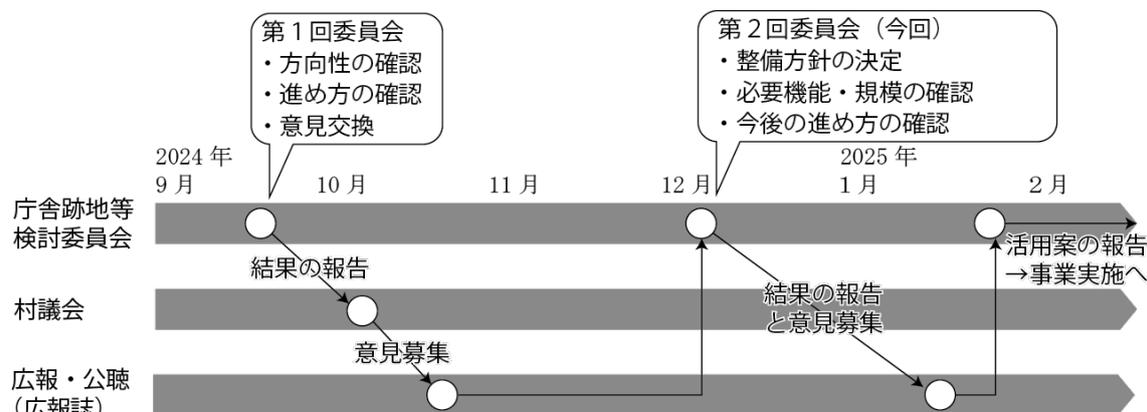


図 検討委員会のスケジュール

■これまでに寄せられた意見を踏まえた整備方針の決定

- ・これまでの意見については資料2、参考資料1参照
- ・C案、D案を中心に検討

表 C案、D案の論点整理

	メリット	デメリット
C案 庁舎跡地 農振センター跡地 一体的な建物 新設（1F）	<ul style="list-style-type: none"> ・一体的な建物となりやすい ・一棟型による整備コストの低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・解体、整備期間中、村民が利用可能な施設がなくなる
D案 庁舎跡地 建物新設 （1期工事） 農振センター跡 建物新設 （2期工事）	<ul style="list-style-type: none"> ・村民施設の継続的な利用が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・1期2期工事となるため、工事期間が長くなる ・2棟方式となるため、整備コストが上がる

■整備内容の検討

- 農振センターの機能継承・・・村の中心部にあり利便性が高い
 - ・加工室と昼食会場の確保（ふれあい昼食会、各種団体の会合）
 - ・健診等、多くの部屋を同時に使用する催し。
 - ・加工室は移転せず、食業工房の利用を検討する。
- ※(工事期間中の)各種催しの代換え施設の検討
- ※農振センターの利用状況については資料3参照

○村内に不足している施設

- ・150人以上が収容できるエアコン付きの大会議室（避難所にも活用）
 - 老人会総会・芸能発表会・老人会ゲーム大会・常会長会・20歳の式典・大勢の視察対応・住民説明会等に活用（R5実績より 年20回程度）

- ・ 貴重な文化資産を保管する部屋(24h 空調)
- ・ 学生が自習できる場所（放課後宿題をする場所）
- ・ コインランドリー：現在農振センターにあるが、存在が知られておらず、利用頻度が低いものの、整備需要は高い

○新たな集いの場としての施設

- ・ 文化施設（図書館）、自習室を兼ねても可能。
- ・ 高齢者が日々集える場
- ・ 公園等、親子が休日遊べる場（雨天時も含む）
- ・ 簡単なイベントができる場(屋内)（発表会、講演会、演奏会等）
同 (屋外)（マルシェ、しゃくなげ市）
- ・ 公衆トイレ（建物内外から利用可）

■今後の進め方

- ・ 整備方法の確認

1. 設計業者の選定方法

- ・ プロポーザル（設計者選定）／コンペ（設計案選定）／競争入札（最小予算）

事業者の選定方式に関する論点整理

	プロポーザル方式	コンペ方式	競争入札方式
選定内容	整備をする事業者を選定	整備するデザインを選定	最も安価な整備事業者を
選考内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの実績 ・ 整備に対する考え方 ・ プロジェクト管理能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物のデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備費用
特徴	プロジェクトを選定事業者と一緒に協議しながら進める	整備案が素早く決定	最も整備コストが安くなる
課題	選定に向けた論点、配点などを詳細に検討する必要	施設の要件を詳細に決定しておく必要	質が低下する可能性がある